



堀中生の人間性を磨くための12月の行動目標

「どんな時でも心にゆとりを持つことができる」 (落ち着いた行動ができる)

## Imagine (想像してごらん)

標題を見て、世界的に著名なジョン・レノンの“Imagine”と言う楽曲を思い浮かべる方も多いのではないかと拝察します。

過日、全校朝会の校長講話で、いじめに係る内容に触れ、生徒自身にも考えてもらう時間をとりました。NHKの放送教材の一つNHK for School内の「いじめをノックアウト」から『その“いじり”大丈夫?』というテーマの動画を見ながら、生徒みんなで考えてもらいました。概要は、クラスのとある場面で盛り上げようとして発したいじりがOKかNGかを考えるところから始め、笑いの2面性や、いじりを受け取る側の気持ちなどについても考えるものでした。

言葉を発する(行為を行う)前に、一度立ち止まってみる、この言葉を発したら(行為をしたら)、相手はどう受け止めるだろうか想像してみることが大事なのはと番組のMCの高橋みなみさんは自分の考えを述べていました。

相手の気持ちを読み取るということは、Imagine(想像する)することです。立ち止まって想像してみることが大事です、と話しました。朝会の講話に関する感想を多くの生徒が出してくれましたので、一部を以下に紹介します。

・いじりは人としっかり向き合わずにとれるコミュニケーションだと私は感じた。映像の中でも話があったように深い関係、良い友人関係を築くにはしっかりと向き合って会話することが大切だと思った。(2年生)

・私も、今日のビデオのようなことをしてしまったり、されたりしたことがあるので、とても共感することができました。私は、高岸さんのように大きな声で反応することはできないけれど、小さな声でもいじられている人を救えるような言葉をかけられるようにしたいです。(1年生)

・会話をするときには一度心の中で文章を唱えてからするようにします！傷ついてからじゃ遅いのでそうします！いじりの笑いでなく優しい笑いをしたいです！(1年生)

・「笑い」って難しいんだなって思いました。表面上は笑っていても心の中では正反対だったり、場の空気に流されて、嫌でも嫌って言えなかったりで、全く自分に悪気がなくても、相手が嫌がっていることに気づけないんだなって思いました。(2年生)

・相手が嫌だと感じることは簡単に読み取れないからこそ、ネットと同じように発言する前に踏みとどまることは大切だなと感じた。(3年生)

・いじられキャラとかいう言葉があるからそれもよくないのかなと思った。自分も嫌なことは嫌だと言い出せる雰囲気づくりをしたいと思いました。(3年生)

・人間関係を築くときに、だれかを犠牲にしてつくられた笑いのコミュニケーションによってできた関係ではなくて心から想いを伝えて打ち明けたことで深まった関係をつくれたらいいなと思いました。また、いじりの限度も考えられたらいいなと思います。(3年生)

・いじりが面白くても本人がどう受け止めているのかどう思っているかをしっかり考えられるようにしていきます。もし、自分がBさんだったら、自分に注目を集めて後からAさんに寄り添ってあげたいと思いました。また、Aさんの立場で嫌だなと思えばクラスの雰囲気を気にせず言うべきだと思いました。(2年生)

